

## 夢に向かって努力する豊田っ子をめざして ～9年間をつなげる豊田スタンダードづくりを通して～

小山市立 豊田中学校・豊田南小学校・豊田北小学校


### 1 今年度の主な研究内容

- (1) 小中一貫の意義やねらいを確認する。(ステップ1)
- (2) 小学校と中学校が、互いを知り、よさや課題を共有する。(ステップ2, 3)
- (3) 研究テーマや目指す子ども像を設定する。(ステップ4)
- (4) 研究の見通しを立て、研究方法を考える。(ステップ5)

### 2 研究経過

	研究内容	月日(曜)	実践したこと
ステップ1	小中一貫の意義やねらいを確認する。	5月	＊各校における校内研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/10小中一貫教育研究校説明会の報告。</li> <li>・小中一貫の意義やねらいを確認する。</li> <li>・自校の良さと課題、それぞれの学校に望むことを話し合う。</li> </ul>
ステップ2	小学校と中学校が、互いを知り、よさや課題を共有する。	5月24日(月)	＊豊田中ブロック推進会議(豊田中) <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学1年生のアンケート結果から、今後の研究の方向性について話し合う。</li> <li>・この後、小学6年生を対象に意識調査を実施する。</li> </ul>
ステップ3		6月2日(水)	＊中学校授業参観 <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃の様子や中学校教員による公開授業を小学校教員が参観する。</li> </ul>
		6月21日(月)	＊第1回全体研修会(豊田中) <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃や授業を参観しての感想を話し合う。</li> <li>・3校のよさと課題や、互いに望むことを話し合う。</li> </ul>
		6月23日(水)	＊豊田北小学校授業参観 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校教員が、空き時間に小学校の授業を参観する。</li> </ul>
		7月1日(木)	＊研究主任会議①(豊田北小) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回全体研修会の内容について話し合う。</li> <li>・豊田中運動会に小学生が参加できる種目を話し合う。</li> </ul>
		7月1日(木)	＊豊田南小学校授業参観 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校教員が、空き時間に小学校の授業を参観する。</li> </ul>
		8月2日(月)	＊第2回全体研修会(豊田中) <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と中学校がお互いに授業を参観した感想を話し合う。</li> <li>・3校共通のよさと課題、3校合同で取り組めそうなことについて話し合う。</li> </ul>

ス テ ッ プ 4	研究テーマや 目指す子ども 像を設定す る。	8月12日 (木)	*研究主任会議②（豊田北小） ・これまでの研究の進捗状況を確認する。 ・第3回全体研修会の内容について話し合う。 ・2学期以降の研究の進め方について話し合う。
		8月17日 (火)	*第3回全体研修会（豊田南小） ・グループによるワークショップを通して、研究テーマについて話し合う。 ・推進会議で研究テーマを決定する。【決定事項（1）】
		9月11日 (土)	*豊田中学校運動会 ・豊田北小、豊田南小の6年生と豊田中の1年生と一緒に紅白に分かれて玉入れを行う。
		9月18日 (土)	*豊田南小学校運動会  <ul style="list-style-type: none"> <li>・5, 6年生の種目「綱引き」と全校児童による「大玉おくり」に豊田中の3年生を招待して、一緒に行う。また、中学3年生には、準備係の仕事も手伝ってもらう。</li> </ul>
		9月25日 (土)	*豊田北小学校運動会 ・1, 2年生の種目「玉入れ」と全校児童による「小山音頭」に豊田中の3年生を招待して、一緒に行う。
		9月29日 (水)	*研究主任会議③（豊田北小） ・めざす子ども像について話し合う。 ・第4回全体研修会の内容について話し合う。
		10月1日 (金)	*豊田中吹奏楽部と豊田北小6年生との交流 ・豊田北小で豊田中吹奏楽部と豊田北小6年生が一緒に合唱「曲名：マイバラード」の練習を行う。
		10月6日 (水)	*第4回全体研修会（豊田中） ・グループによるワークショップを通して、めざす子ども像について話し合う。 ・推進会議でめざす子ども像を決定する。【決定事項（2）】
		10月19日 (火)	*研究主任会議④（豊田北小） ・これまでの研究の進捗状況を確認する。 ・第5回全体研修会の内容について話し合う。
		10月30日 (土)	*豊田南小学校学校祭「豊南フェスティバル」 ・豊田中の吹奏楽部が演奏を披露し、全校合唱にも参加する。また、中学3年生が和太鼓の演奏を披露する。
	11月6日 (土)	*豊田北小学校学校祭「豊北祭」 ・豊田中の3年生が和太鼓の演奏を披露する。 	

	11月10日 (水)	<p>*第5回全体研修会（豊田北小）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループによるワークショップを通して、豊田スタンダードについて話し合う。</li> <li>・推進会議で豊田スタンダードを決定する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【決定事項（3）】</p> <p>また、研究組織についても検討し、決定する。</p> <p style="text-align: right;">【決定事項（4）】</p>
	11月19日 (金)	<p>*小山市音楽祭参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小山市の音楽祭で、豊田中吹奏楽部と豊田南小・北小の6年生と一緒に合唱「曲名：マイバラード」を行う。</li> </ul>
		
ステ ッ プ 5	<p>11月30日 (火)</p> <p>12月2日 (火)</p> <p>12月27日 (月)</p> <p>1月13日 (木)</p> <p>1月26日 (水)</p>	<p>*3校研究主任による研究校公開研への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県八潮市立潮止中学校の公開研に参加し、各校で職員に出張報告を行う。</li> </ul> <p>*研究主任会議⑤（豊田北小）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究部員の確認や研究計画について話し合う。</li> <li>・3学期に予定している第6回全体研修会の内容について検討する。</li> </ul> <p>*研究主任会議⑥（豊田北小）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田地区の研究経過の説明について、発表内容を検討する。</li> </ul> <p>*研究主任会議⑦（豊田北小）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田地区の研究経過の説明について、発表資料を検討し、リハーサルを行う。</li> </ul> <p>*第6回全体研修会（豊田中）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部に分かれて、次年度に向けての研究計画を立てる。</li> </ul>

### 3 現時点での決定事項

#### (1) 研究テーマ

**夢に向かって努力する豊田っ子をめざして**  
**～9年間をつなげる豊田スタンダードづくりを通して～**

#### <テーマ設定の理由>

現在、豊田地区内の小中学校では、新学習指導要領で目指す生きる力をはぐくむため、知・徳・体のバランスのとれた地域に開かれた教育活動を行っている。

児童生徒は、まじめで、素直であり、保護者や地域の人々の温かなまなざしの中、心優しい子どもとして成長している。一方で、自分の考えや思いを表現することや主体的に行動することに対して消極的な児童生徒が多く見られる。

そこで、夢や目標に向かって進んで学び、主体的に行動しようとする児童生徒の育成が、本地区の児童生徒の課題と考え、「夢に向かって努力する豊田っ子をめざして」を研究テーマとした。また、小中学校の教職員が同僚性を発揮してこの研究テーマに迫るため、9年間を見通した学習のきまりや生活のきまり等の豊田スタンダードを作っていきたいと考え、「9年間をつなげる豊田スタンダードづくりを通して」をサブテーマとした。

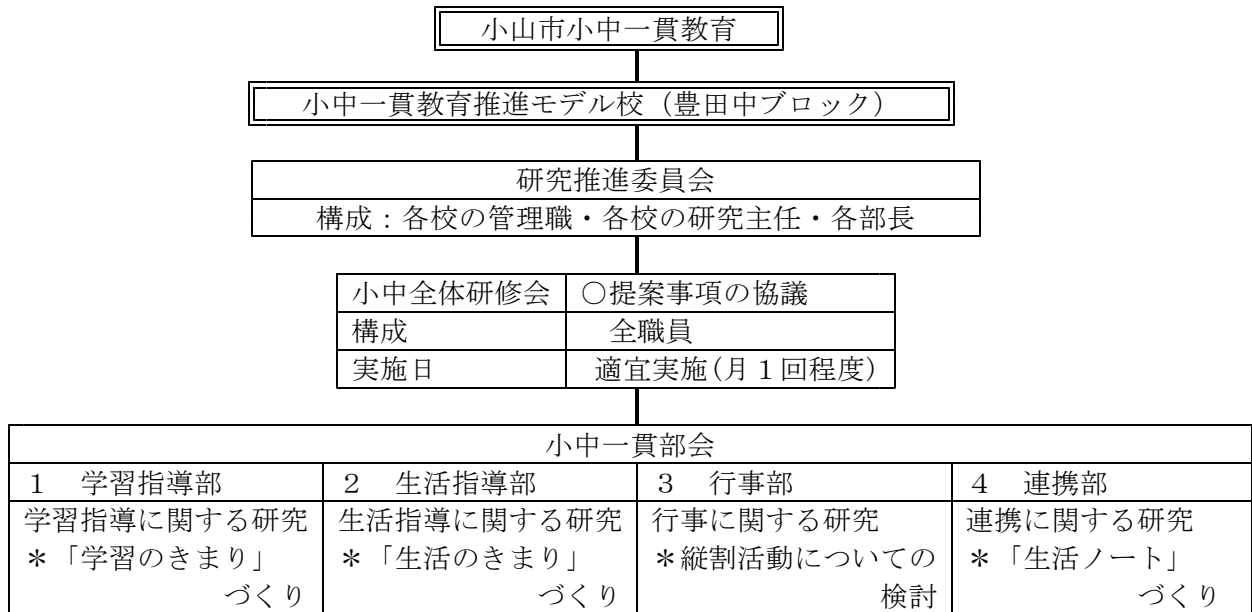
(2) めざす子ども像

- |                   |
|-------------------|
| 1 目標をもち、最後までやり抜く子 |
| 2 自分の思いを伝えられる子    |
| 3 お互いに協力できる子      |

(3) 豊田スタンダード

- |                |
|----------------|
| 1 「学習のきまり」づくり  |
| 2 「生活のきまり」づくり  |
| 3 「生活ノート」づくり   |
| 4 縦割り活動についての検討 |

(4) 研究組織



4 研究の成果と課題

(1) 研究の成果

- ア 3校の教職員が意見交換をしたり、それぞれの学校の授業を参観したりすることで、互いの児童生徒の学び方、生活の仕方等に対する理解が深まった。
- イ 研究推進委員会や全教職員による研修で、ワークショップをくり返すことにより、3校の教職員が仲良くなり、無理なく前向きに研究のための話し合いができるようになった。
- ウ 児童生徒にも9年間の成長を意識させるために、できるところから小中学校間の交流活動をスタートさせた。運動会や学校祭等で交流の機会をもったことにより、小学生は中学生に対してあこがれをもち、中学生は小学生の頑張りに関心するなど、互いの存在に対する意識が高まった。

(2) 今後の課題

- ア 小中で行われてきたこれまでの教育活動のよさを確認し、認め合いながら、9年間をつなぐための互いの役割や連携すべき事を検討し、3校教職員の共通理解の下、実態に応じた豊田スタンダードづくりを行う。
- イ 9年間の成長の中で、児童生徒に夢や目標をもたせたり、思いやりの心やたくましさをはぐくんだりするための小中の交流活動を、効果と継続性を考えて検討する。
- ウ 豊田地区としての小中9年間をつなぐ教育を、家庭や地域との連携を図りながら、協力して進める。